

(1) 地域間幹線系統確保維持計画の承認について

- ・ 野沢線
  - 地域間幹線系統別確保維持計画 ……3
  - 地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況 ……6
- ・ 中野木島線
  - 地域間幹線系統別確保維持計画 ……7
  - 地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況 ……10

添付参考資料 : 長電バス(株)減便の資料

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 野沢線  
 運行区間 : 飯山駅 ~ 日赤・中村 ~ 野沢温泉  
 計画期間 : 2019年10月1日~2022年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

- (1) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の通勤・通学者の利用のため
- (2) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の飯山市の商業施設等への利用のため
- (3) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の総合病院への通院のため
- (4) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民のJR及び中野木島線への接続のため
- (5) 沿線上の中学・高校への通学利用のため

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。

効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 2020年度輸送量目標値 : 24.4

## (2) 運行による効果

飯山市内、木島平村内及び野沢温泉村内への移動手段を確保維持することにより、移動制約者の日常生活を支え、特に高齢者を中心とした生活環境等の維持が図れるとともに、過疎化の進む中山間地域における活性化につながることも期待される。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

飯山市地域公共交通会議、木島平村地域公共交通会議、野沢温泉村地域公共交通会議、長電バスが主体となり、在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
2019.10~ 2020.9	10,028,304円	2,710,000円	2,710,000円	4,608,304円	0円

2020.10～ 2021.9	10,020,965 円	2,708,000 円	2,708,000 円	4,604,965 円	0 円
2021.10～ 2022.9	10,009,982 円	2,705,000 円	2,705,000 円	4,599,982 円	0 円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 2014年7月、路線バス全線運賃改定による収益改善
- (3) 時刻表の全戸配布による周知及び利用促進活動
- (4) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填の実施

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・ 在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。
- ・ 減便を実施し、費用削減を図る。

### (2) 実施主体

飯山市地域公共交通会議、木島平村地域公共交通会議、野沢温泉村地域公共交通会議  
長電バス株式会社

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

2019年10月1日に減便を実施予定

### (6) その他特記事項

速達性で勝る直通バス路線は外国人旅行者に支持されていることから、通勤・通学の利用者の需要を喚起する

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 野沢線
運 行 区 間	: 飯山駅 ~ 日赤・中村 ~ 野沢温泉
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
・2019年5月 日 飯山市地域公共交通会議	
3. 協議会等における主な議論	
・2019年5月 日協議において、野沢温泉村・木島平村参加のうえ、事業内容について協議し、計画全体について合意	
4. 利用者等の意見の反映	
飯山駅での利用実態を把握し、利用者ニーズに即した運行時刻の見直しを検討	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
各地域による、時刻表の全戸配布による周知	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
乗継改善のための時刻改正を実施	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県北信地域振興局 長野県交通政策課
関係市区町村	飯山市企画財政課 木島平村建設課 野沢温泉村総務課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス JR東日本 北信建設事務所 飯山警察署 長野交通飯山観光ハイヤー 戸狩ハイヤー
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	商工会議所、利用者代表等

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 中野木島線  
 運 行 区 間 : 中野駅 ~ 若宮・高社中・木島 ~ 飯山駅  
 計 画 期 間 : 2019年10月1日~2022年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

- (1) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学のための移動手段
- (2) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした商業施設利用のための移動手段
- (3) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした総合病院等の医療機関への通院のための移動手段
- (4) 中野市のバス路線沿線住民生徒の中学校通学利用のため移動手段
- (5) 野沢温泉村・木島平村民及び以北の住民の方が利用されてる同じ幹線であります野沢線との接続をはかることによる通勤・通学・通院利用のための移動手段

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。  
 効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 2020年度輸送量目標値 : 15.9

## (2) 運行による効果

中野市内中心市街地への移動手段を維持確保することにより、高齢者を中心とした生活環境等の維持が図られるとともに、過疎化の進む山間地域において地域の活性化につながることも期待される。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

中野市・飯山市地域公共交通会議及び長電バスが主体となり、在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者

2019. 10～ 2020. 9	10, 294, 815 円	2, 913, 500 円	2, 913, 500 円	4, 467, 815 円	0 円
2020. 10～ 2021. 9	10, 276, 571 円	2, 908, 000 円	2, 908, 000 円	4, 460, 571 円	0 円
2021. 10～ 2022. 9	10, 271, 291 円	2, 906, 500 円	2, 906, 500 円	4, 458, 291 円	0 円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 2009 年度中野市地域公共交通総合連携計画に伴う経路変更に伴う利便性の向上  
(2009.10 路線再編に伴い一本木地区利便改善のため経路変更を行った)
- (3) 時刻表の全戸配布による周知及び利用促進活動
- (4) 2014 年 7 月、路線バス全線運賃改定による収益改善
- (5) 飯山駅新幹線開通に伴い、飯山駅への路線延長を実施。
- (6) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填実施

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・減便を実施し、費用削減を図る
- ・高社小学校バス停を新設し、利便向上を図る

### (2) 実施主体

中野市地域公共交通対策協議会、飯山市地域公共交通会議  
長電バス株式会社

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年 1 %以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

- ・2019 年 10 月 1 日に減便を実施予定
- ・2020 年 4 月 1 日に高社小学校バス停を新設予定

### (6) その他特記事項

減便による影響を見極めていく

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)



地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 中野木島線
運 行 区 間	: 中野駅 ~ 若宮・高社中・木島 ~ 飯山駅
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年5月27日 中野市地域公共交通対策協議会</li> <li>・2019年5月 日 飯山市地域公共交通会議</li> </ul>	
3. 協議会等における主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年5月27日(中野市)協議会及び5月23日(飯山市)協議会において、事業内容について協議し、計画全体について合意</li> </ul>	
4. 利用者等の意見の反映	
新設バス停での利用実態の把握	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
新幹線開業に伴う飯山駅への乗り入れを行い、2次交通としての役割を担う	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
乗継改善のための時刻改正を実施 国・県補助後の損失額については沿線自治体による補填を受けた	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県北信地域振興局 長野県交通政策課
関係市区町村	中野市政策情報課 飯山市企画財政課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 飯山観光ハイヤー 長野交通 戸狩ハイヤー JR東日本 中野ハイヤー 北信建設事務所 中野警察署 飯山警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	商工会議所、利用者代表等